

全人類のための健康のシンボル

Mar. 28,2007

著：林佳谷

一・はじめに

組織のシンボルマークというのは、その組織の理念、使命と願望が凝縮されています。またそのシンボルのデザインから、組織の思想が理にかなっているか、またその考え深さを知ることができます。WHO（世界保健機関）のシンボルは、国際連合憲章第 57 条及び International Health Conference（1945 年 7 月 22 日）の採択と調印を経て、1946 年に成立しました。そのデザインは医学の神の持つ蛇杖がメインとなっています（図一）。

台湾は 1971 年に国際連合を脱退してから世界の孤児となってしまっています。WHO がいかに公平無私であり、全人類の調和と安寧を主旨としているとはいえ、2002 年の SARS の大流行や、近年頻繁に発生する鳥インフルエンザなどの、世界的な伝染病が人類を脅かした時には、台湾は「誰がお前さんがたを構うものか！」という冷たい仕打ちを受けました。しかしこういう対応は、微生物の世界にはいかなる国境も存在しないという理論から考えれば、道理にもとるものです。また「大慈大悲、離苦得楽」（仏の広く衆生に対する慈悲こそが、苦痛を取り除き、安樂を得させる）という人間性の卓越した包容力から見ても、人類愛の精神に欠けると言わざるを得ません。WHO 憲章の主旨は、全人類の安樂、調和と安全であるのに、その主旨を自ら捨てているようなものです。とはいえ、WHO は国際連合の一組織ですから、そのすべては政治力の指導に下にあるのです。

台湾は過去から現在に至るまで、農作チームや伝染病の撲滅、災害の救助、医療チームの派遣などで、国家もしくは国家と NGO の共同の努力で、何度も無私の貢献を行ってきましたが、しかし WHO 入会の扉は閉ざされたままで、努力も徒労に終わっています。このような組織には失望せざるを得ません。

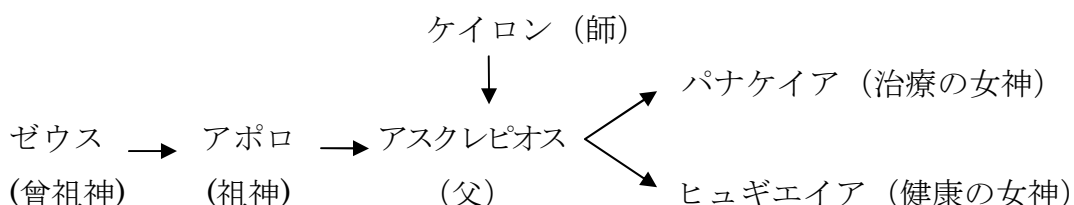
さて、ここでもう一度 WHO のシンボルマークを見てみましょう。丁度手元に一枚の新聞の切り抜きがあります。WHO の新しい幹事長である香港のマーガレット・チャン氏が、WHO のシンボルマークの前に立っている記事です。全人類の健康を願う組織を代表するこのシンボルに対し、個人的には特に異議

はありません。しかしもし本文の論述が理にかなっているならば、台湾における全国民の健康指導組織である衛生署の参考に供したいと考えます。なぜなら、1971年に行政院衛生署が考案した衛生署のシンボルは、WHOのデザインに似通い過ぎているからです。

二・医学の歴史を回顧して

ここでは、ギリシャ神話になぞらえ、西洋医学史の真実について改めて確認したいと思います。

ギリシャ神話では、アポロンは神々の王ゼウスの息子で、音楽、詩、予言、医学と疫病を司りますが、そのアポロンがテッサリアの王女コロニスの中に儲けた子が、医神アスクレピオスです(アスクレピオスはギリシャ語で Asklepios、ラテン語では Aesculapius と記します)。アスクレピオスは、ケンタウロス族の賢者ケイロンに育てられましたが、救急と生薬については師ケイロンを凌ぐほどの名医となりました。しかしアスクレピオスの治療によって死ぬはずの命まで助けてしまったため、天の秩序を犯したかどで祖父ゼウスによって処刑されました。アスクレピオスにはふたりの娘、パナケイアとヒュギエイアがいましたが、パナケイアは病の治療を、ヒュギエイアは保健予防医学や規則正しい生活、つまり今日言うところのロハス (Life-style of Health and Sustainability) を司っています。万能薬を意味する英語 panacea と、衛生学 hygiene の語源は、このふたりの娘の名を由来としています。以上がギリシャ諸神の関係です。まとめると以下のようになります。



医学史には顧みるべき点がいくつかあります

●その1：医者への誓いの言葉

今日、西洋医学の教育の場では、卒業し医者となる者に、以下のような宣誓を行わせます。

「医神アポロン、アスクレピオス、ヒギエイア、パナケイアおよびすべての男神と女神に誓う、私の能力と判断にしたがってこの誓いと約束を守ることを。」
(The Hippocratic Oath : “I swear by Apollo the physician , and by Asklepios , Hygeia and Panakeia , and all the gods and goddess , and call them to witness that.....”。宣誓の日本語は小川鼎三の訳より引用)。

ここから、医学界の人なら、A (アポロ、アスクレピオスを現す)、P (パナケイアを現す)、H (ヒュギエイアを現す) を熟知していることは明らかです。

●その2 : ラテン語「Salus publica suprema lex」(予防と保健こそが、民衆の健康にとって最高の法である)

Salus は健康の女神ヒュギエイアのラテン語での表記です。

●その3 : 全体の医学 VS 化学と還元の治療医学 (Holistic concern of the Cosan School vs. Reductionistic approach of the Cnidus School)

ギリシャのコス島出身の医聖ヒポクラテスは、医者は人間全体を守る思いやりが必要であり、患者の身体、精神、魂や、生活リズムなど患者のあらゆる側面に気を配る必要がある、と主張していました。またヒポクラテスは、大気、水、場所などの環境と健康の関係にも大きな関心を持っていました。同じ頃、コス島の対岸にあるクニドス島 (Cnidus) には、島の名を取ったクニドス学派がいました。この学派の特徴は、医者は疾病そのもの注目すべきという点であり、非常に精緻な還元主義 (デカルトの機械論に類似しています) を奉じていました。特に疾病の分類と的確な診断、ある器官の病変とそこから発生する特定の症状を明らかにすることを重んじました。非常に残念なことです、今日の医者はヒポクラテスが生み出した誓いを立てますが、行っていることはことごとくクニドス学派のことなのです。

●その4 : 公衆衛生~1840年より始まった医学における画期的事件

環境に関する技術の革命は、1840年以降における、最も重要な医療の一里塚です。公衆衛生の果たした成果というものは、抗生物質、ワクチン、全身麻酔や避妊薬、免疫学やコンピューターの果たした貢献よりも、遙かに大きなものと評価されています (“British Journal of Medicine” (BMJ) 2007年)

●その5：公衆衛生の父

公衆衛生の父と呼ばれたエドウィン・チャドウィックは、医学や細菌学については全く学識の無い弁護士でした。医者が公衆衛生の世界において指導的な地位を占めるようになったのは、1950年代以降、肺結核を薬でコントロールする時代になってからです。

三・WHOのシンボルを検証する

以上の歴史的背景を踏まえ、WHOのシンボルについて客観的に評価してみたいと思います。

1946年に創られたWHOのシンボルは、医神の蛇杖(the Aesculapian Wand)の権威がトーテムのように高々と示されており、その背後に地球の各地域(この地球の図案は特定の国家を示さない形になっていますが、今日のWHOは特定の国家による政治的な意味合いが濃厚になっています)と、平和を象徴するオリーブの枝が描かれています。蛇杖は神話に登場するムーサ(英語読みではミューズ)の故事に由来しますが、同時にアポロンを祭るデルフォイ神殿に居る、傷を舐めて癒す医蛇も示します。また蛇の繁殖力と脱皮は、若さと長生きの象徴となっており、これらの由来から蛇杖が描かれました。

医神アスクレピオスには、トロイア戦争に参加して傷病兵を救助していましたが、ついには生きてはいけぬ者(死者)すらも救ったために懲罰されたという故事があります。このことから、彼がまるで医者(肉体治療の技術者)を代表するかのような印象となりました。しかし医神のふたりの娘の職責には明らかな違いがあります。パナケイア(治療の女神)はおもに傷病の処理を専門とし、ヒュギエイアは健康の促進、個人における養生(health regimen)、公共における衛生(Public Health, HP)を専門としています。蛇杖をトーテムとするという意識とは、医者があくまでも主役であり、人民の医療や病気に関することはすべて医者によって管理指導されるという考えでもあります。しかしこの種の考え方では、生活上における生命の保守や養生といった「衛生」に関わることは、ほとんどみな除外され、排除されます。治療の専門である医者が、だしぬけに予防医学の重要性を主張したりすると、国民健康局がそれに反応して、余計なものを生み出したりします。[注：中華民国の行政院衛生署は1971年に設立されましたが、WHOのシンボルの観念を取り入れ、そこに梅花と「衛」の字を加えてシンボルを作成しました(図2)。両側の枝葉に至っては、それが

オリーブなのか稲なのか分かりません。平和の意味なのか、それともお米を食べる意味なのか、それとも見た目が良いように配置した図柄なのでしょう？ 30年後の2001年には、国民健康局が設立されましたが、そのシンボルには特別な故事由来を持つ図柄は全くなく、ただ中国語と英語、それとアルファベットを図案化しただけのものです（図3）]。

平和と健康には関連があります。戦乱の中に置かれると人命も健康も影響を受けます。例えば二回の世界大戦中では肺結核の発病率が上昇しましたし、難民キャンプでは下痢と伝染病が重大な健康被害をもたらしています。つまり平和は健康の基盤のひとつであるのです。しかしおのおの組織には職責があり、得意とする分野があつて、WHOは健康と平和に関する問題を担当しているかのように見えます。実際、「平和」は国際連合と安全保障理事会（安保理）の担当事項でもあります。今日のWHOのデザインは、まるで「医者が病気を治すことが世界平和をもたらす」という感覚を持っているかのようなようです。

四・全人類の健康シンボルの提案

以上の歴史を振り返り、更に現状を考慮して、どのような組織や人々も均しく採用できる簡明かつ適切な「全人類の健康のシンボル」を、ここに考案しました。

同心円は、美学的に見て最も美しく、また調和のとれた形のひとつです。その幾重にも重なった図形は、電子層が原子核（陽子と中性子から構成されています）をめぐる原子構造と同じで、いわば物質の基本概念でもあります。その中でも最も外側の電子殻は内側の電子に比べ活発に活動します。生老病死が避けがたい人の一生において、病にならず（不病）、医者にかからず（不医）、薬を飲まず（不薬）に済む健康な時間を多く持つことこそが、人々が求め、憧れる生活です。これに対し、医者を求め、薬を使って生きる人生というものは、人生で時において出会う嬉しくない状態です。つまり健康の女神は終生の伴侶となるのに対し、治療の女神とは人生の終わりや突然の病気や怪我の際に、治療をし、回復の手助けをしてくれる者なのです。二者の担当する側面には違いがあります。前者の範囲は広く大きく、生き生きとして活気に満ちていますが、後者の範囲は狭く、悲しみに満ちていることが多いです。

ここで、図がどのような構図であるか解説します。

原子核が“A”、内側の原子殻の軌道が“P”、外側の原子殻の軌道が“H”で、

二層の同心円を形成します。この A、P、H 三個のアルファベットは、以下の意味を含んでいます。

P : Panakeia(医療の女神), panacea(万能薬), peace(平和)

H : Hygeia(健康の女神), hygiene(衛生学), health(健康)

A : Apollo(アポロン神), Aesculapius (or Asklepios 医神アスクレピオス), Ace(エース)

PH : public health(公共衛生)

HP : health promotion(健康の促進)

この A、P、H の三つのアルファベットによって構成された図案は、健康 (H)、医療 (P) と、医神とアポロン神 (A) などの神々の名称のもと、その神々が代表して責任を負い、最善の状態を保つべき範囲を示しています。更にこの三文字には、健康 (H)、平和 (P) あるいは公共衛生 (PH)、健康促進 (HP) の多くの意味が含まれています。

五・おわりに

以上に提案する図案は、ギリシャ神話、西洋医学史、字源学、原子の構成と美的感覚をすべて考慮したものです。図形は簡潔かつ合理的であり、国際的な場や国家、そのほかさまざまな組織が国民の健康を指導する際に、使用することができます。またこの図案から西洋の神話、哲学、科学、医学のつながりについて学ぶことができ、それぞれの責任の所在と、責任を負うべき範囲が明確となっていて、今後それぞれの舵取りをする者に最適な図案となっているのです。

参考文献：

1. G.Rosen 『A History of Public Health』 The Johns Hopkins University Press; 1985.
2. N. Duin and J.Sutcliffe 『A History of Medicine』 Barnes & Noble Book, N.Y. 1992
3. Chen YM and Kuo SH. 「HIV-1 in Taiwan」 Lancet, vol. 369 Feb. 24, 2007
4. M. McKee and R. Atun 「Beyond borders: public-health surveillance.」 Lancet, vol. 367 Apr. 24, 2007
5. A. Ferriman 「“Sanitation revolution” as greatest medical advance since 1840」 BMJ 2007 ; 334 : 111 (20 January)
6. 林佳谷『醫學史與自然醫學』合記圖書，1999
7. 林佳谷『醫院無病房』合記圖書，2001



1946, 7

圖 1：世界保健機關 World Health Organization, WHO



1971, 3

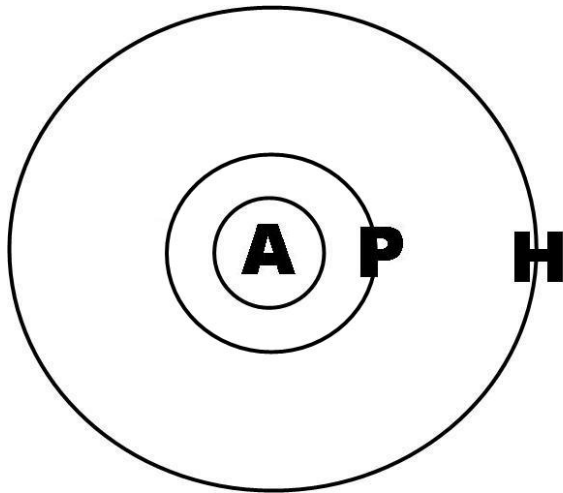
図二：中華民国行政院衛生署の
シンボルマーク



2001, 7

図三：行政院衛生署国民健康局の
シンボルマーク

全人類の健康のシンボル



- P : Panakeia (治療の女神), panacea (万能薬), peace (平和)
- H : Hygeia (健康の女神), hygiene (衛生学), health (健康)
- A : Apollo (アポロン神), Aesculapius (Asklepios、医神), Ace (エース)
- PH : public health (公共衛生)
- HP : health promotion (健康の促進)

図四：林氏のデザインによる全人類の健康を現す A.P.H.シンボル